

# 平成24年度 第23回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成25年2月9日(土)

【男子】1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第3試合

桐生第一 (群馬県)	97	}	75	慶應義塾志木 (埼玉県)
		{		
		21 - 19		
		26 - 26		
		21 - 15		
		29 - 15		

## 桐生第一

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4	齋藤 涼一	5	0	0	2	9	1	4	4	5	2	7	0	2	0	0
5*	落合 亮太	10	0	1	4	6	2	2	4	1	5	6	3	3	0	8
6*	山本 剛士	18	0	1	9	16	0	0	1	0	0	0	1	6	0	3
7	西田 颯樹															
8	新田 孝樹															
9	前原 拓弥															
10	栗原 龍平															
11	古郡 岬															
12	前里 颯															
13*	石橋 倭祐	12	2	9	1	4	4	4	1	0	5	5	3	3	0	2
14*	福島 瑠也	27	4	12	7	12	1	2	2	5	2	7	3	5	0	0
15*	小川 綾介	21	0	0	9	22	3	4	3	3	5	8	1	4	1	4
16	五十嵐 蒼	2	0	1	1	5	0	0	1	3	0	3	1	3	0	1
17	宮原 大樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	今里 遼太	2	0	0	1	4	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2
HC	蛭間 貞夫/TEAM									3	7	10				0
チーム		97	6	24	34	78	11	16	17	21	28	49	13	27	1	20

\*スターティングメンバー

確率 25.0% 43.6% 68.8%

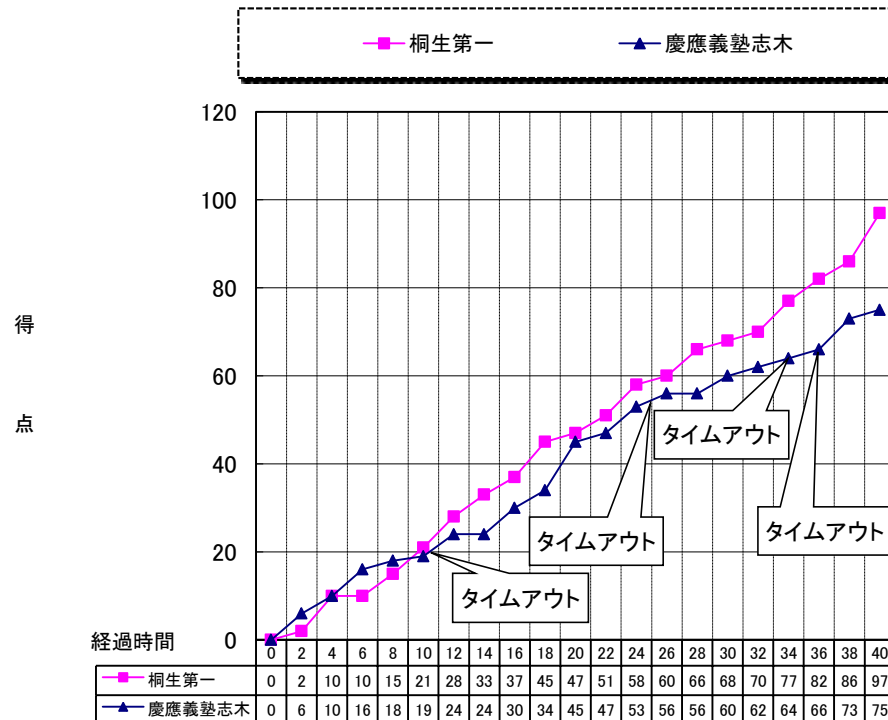
## 慶應義塾志木

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	加藤 舜王	8	0	0	4	10	0	0	5	0	5	5	10	3	0	9
5*	渡邊 由真	7	0	0	3	10	1	2	1	0	9	9	2	1	2	3
6*	大地 七海	27	0	0	12	14	3	6	4	8	4	12	2	2	0	2
7	松村 卓磨	10	1	5	3	4	1	1	2	4	5	9	2	2	0	3
8	山本 晴太	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9*	小原 陸	2	0	1	0	0	2	2	1	5	4	9	0	4	0	10
10	吉敷 秀太	10	2	4	2	5	0	0	1	1	0	1	0	1	0	3
11*	藤本 恭輔	11	1	5	4	7	0	0	1	0	4	4	2	2	0	2
12	中嶋 優介															
13	宇津木 琢哉															
14	迫田 良平															
15	梅原 智文															
16	深井 雅之															
17	金井 健悟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	真田 友輔															
HC	佐野 正/TEAM									3	5	8				1
チーム		75	4	15	28	50	7	11	16	21	36	57	18	15	2	34

\*スターティングメンバー

確率 26.7% 56.0% 63.6%

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

1Qの序盤、両チームともフルコートで積極的にディフェンスを展開する。慶應志木は④加藤のドライブ、アシストが冴え、リードを奪う。桐生一は⑩迫田を中心に得点を重ねる。その後、桐生一はディフェンスのプレッシャーを強めてスティールを連発し、逆転に成功する。桐生一21-19慶應志木で1Q終了。2Qに入っても桐生一はプレッシャーマンツーマンツーマンより、⑩小川のスティールからの速攻などで得点を重ね、リードを広げる。前半残り3分で9点のリードをしたが、ここから慶應志木は⑦村松のバスケットカウントや3Pで点差を詰め、最後は⑥の速攻からのバスケットカウント。桐生一47-45慶應志木と2点差で前半終了。後半に入りお互い速攻からジャンプシュートで得点を伸ばし、一進一退の攻防が続く。中盤、慶應志木はディフェンスを3-2のゾーンに変え、リズムを変えようとするが、桐生一⑬石橋の3Pなどでリードを逆に広げられてしまう。桐生一68-60慶應志木で3Q終了。4Qに入っても桐生一は運動量を全く落とすことなく攻撃的なディフェンスを仕掛け続ける。スティールからレイアップシュートや⑭の3Pなどを立て続けに決める。徐々に点差が広がり、残り4分で18点差になったところで、慶應志木は最後のタイムアウト。ここからフルコートプレスでプレッシャーをかけてボールを奪い、立て続けに得点をするが、反撃もここまで。最後は相手のディフェンスを落ち着いてかわし、97-75で桐生一が初戦を突破した。

主審	秋山知洋	第1副審	深澤雅俊	第2副審	—
----	------	------	------	------	---

記入者	澤田昌宏
-----	------